

COLUMN

龍馬は下田から翔けた

文監修：伊豆龍馬会

文久3年(1863)1月、龍馬らを率いた勝海舟一行が乗船する順動丸が、悪天候の為、風待ちで下田港へ入港。そこにまさに天のいたずら、第15代土佐藩主・山内容堂(やまのうちようどう)率いる土佐藩一行が同じく風待ちをするため下田・宝福寺に逗留していました。海舟は、容堂の招きで宝福寺に参上、すかさず龍馬の脱藩赦免※を願い出ました。その海舟に対し、大酒飲みの容堂は、海舟が下戸であることを知りつつも、酒を杯になみなみと注ぎ、「まずは一献」と海舟に差し出しました。龍馬の脱藩赦免が欲しい海舟はその杯の酒を一気に飲み干し、脱藩赦免の証に容堂の軋筆を求めました。容堂は軋筆の代わりに「歳計三百六十回 鯨海酔候」と白扇に書き記し海舟に渡したとされます(海舟の「亡友帖」より)。この海舟の働きかけにより自由の身となり、脱藩罪という手かせ、足かせがとれた龍馬は、天馬となり飛翔しました。これが「龍馬飛翔の地・下田」とされる由縁です。※土佐藩を脱藩した龍馬の罪を藩主に許してもらいたい



TITLE
坂本龍馬飛翔の地

#坂本龍馬
#脱藩赦免
#勝海舟と山内容堂
#宝福寺

下田
SHIMODA

30
COLORS PROJECT

POINT

坂本龍馬 早わかり年表

- 1835年(天保6) 高知県に生まれる
- 1854年(安政元) ペリー艦隊が下田港に来航
- 1858年(安政5) 北辰一刀流長刀兵法目録を受ける
安政の大獄
- 1860年(万延元) 桜田門外の変で井伊直弼暗殺される
- 1861年(文久元) 土佐勤王党に加入
- 1862年(文久元) 勝海舟に弟子入り
- 1863年(文久3) 宝福寺にて脱藩の罪が許される(2月)
神戸で勝海舟の海軍塾・塾頭になる
- 1864年(元治元) お龍と内祝言(結婚)
池田屋騒動
下田で蝦夷開拓の夢語る
- 1865年(慶応元) 長崎にて亀山社中を設立
- 1866年(慶応2) 薩長同盟設立
- 1867年(慶応3) 船中八策を提案(6月)
大政奉還成立(10月)
京都近江屋で中岡慎太郎と共に襲撃を受け、
龍馬絶命(満31歳)(11月)
京都東山の靈山に埋葬される
- 1868年(慶応4) 五箇条の御誓文 発布
江戸城無血開城
海援隊解散
明治維新

幕末の風雲児・坂本龍馬

ここ下田は、開国の「風待ち港」として数々の英傑たちが行き交う幕末の交差点。迫り来る異国の脅威に日本の未来を案じた龍馬は、土佐を脱藩し、追っ手の目を逃れながら自らの進む道を探し、流浪の旅に出ます。そして、生涯の師・勝海舟と出会います。意気投合する龍馬と海舟でしたが、龍馬は脱藩罪を背負う罪人でした。そんな二人を気まぐれな時代の風が下田へと誘いました。



下田の旬の情報は 公式アカウントで!

風景、遊び、グルメなど。
下田の旬の情報を公式アカウントで発信中。
ぜひ、アクセスしてみてください!



公式ホームページ

<https://www.shimoda-city.info>

- Instagram: shimoda_kanko
- YouTube: @shimodakanko
- Facebook: 下田市観光協会
- Twitter: @shimoda_kanko



あなたの素敵な写真を

#下田 で投稿してください

伊豆下田で
あなたにぴったりの
旅が見つかる

30
COLORS PROJECT



下田市観光協会公式サイトで
下田 30 カラーズを
ご覧いただけます。

下田 30 カラーズ



ライブカメラで
下田の今を生配信



Live Shimoda



お得なクーポン付
下田ガイドマップ
市内各所で配布中

配布スポット

下田市観光協会、下田市観光協会駅前案内所、道の駅開国下田みなと、下田市内各施設、下田市内各宿泊施設など

下田 30 COLORS PROJECT

企画・編集・発行
一般社団法人 下田市観光協会
TEL.0558-22-1531

※本紙掲載の料金は、原則として消費税込みですが、実際の料金と異なる場合があります。
※本紙の著作権は下田市観光協会が有しております。
※許可無く、使用されている画像の流用・転載などは固くお断りします。

龍馬ゆかりの史跡を巡ろう

龍馬飛翔の地となった下田で、龍馬ゆかりの史跡を巡りながら往時の街を思い浮かべれば、いつもと違った下田に出会えますよ。

1 宝福寺 ほうふくじ

龍馬脱藩赦免の地

龍馬ゆかりの寺といえばここ。龍馬脱藩赦免をめくって、勝海舟が山内容堂を謁見した部屋の一部が当時のまま保存されています。龍馬のために海舟が飲み干した杯の現物もここで見学可。



宝福寺記念館の中にある謁見の間



容堂公が勝海舟に酒を注いだとされる杯



MEMO

宝福寺の入口には龍馬を型どった巨大な木像が建っています。一緒に記念撮影をしてみてください。

DATA

電話 / 0558-22-0960 料金 / 境内自由 (お吉記念館 400 円) 時間 / 8:00~17:00 (お吉記念館) 定休日 / 年中無休 住所 / 下田市 1 丁目 18-26

オリジナル 龍馬みやげ



宝福寺の売店では容堂公が勝海舟との話の席でひょうたんの絵を書いた扇のレプリカ「風待ちのひょうたん扇子(1,500 円・左写真)」を販売しています。

2 みなと通り(大川端)

順動丸と大鵬丸の船着場

勝海舟の順動丸、山内容堂の大鵬丸が下田沖に停泊し、ここから上陸したとされています。龍馬の脱藩赦免を願うために上陸した海舟の心情に思いを寄せることができます。



DATA

問い合わせ / 0558-22-1531 (下田市観光協会)



小さな平滑川沿いに建つ石造りの古民家

DATA

問い合わせ / 0558-22-1531 (下田市観光協会)



夜に点灯するガス灯のデザインがレトロ

3 ペリーロード

花街だった古民家通り

ペリーロードはその昔、花街として栄えました。龍馬といえば、京都や長崎で浮名を流したことで知られています。下田沖を龍馬は10数回航行したといわれているので、風待ちで立寄った龍馬に馴染みの芸妓がいたなんてこともあったかも？



趣のある古民家が多く並ぶ

MEMO

旧澤村邸

ペリーロードに建つ旧澤村邸は、なまこ壁と伊豆石造りの建築様式を用いた建造物で、大正4年に建築されました。現在は無料休憩施設としてご利用できます。建物奥には蔵ギャラリーがあり無料で見学可能です。



DATA

電話 / 0558-25-4600 料金 / 無料 時間 / 10:00~16:00 定休日 / 水曜日 住所 / 下田市 3 丁目 16-10

4 なまこ壁の家 雑忠 さいちゅう

市内最大級のなまこ壁の古民家

幕末の下田の風情を感じる建物といたら、この「なまこ壁」です。市街各所に点在しています。下田の町を闊歩したといわれる往時の龍馬には、なまこ壁の建物はどのように映ったのでしょうか。

問い合わせ / 0558-22-1531 (下田市観光協会)



白と黒のコントラストが美しいなまこ壁



記念撮影スポットになっている南側正面

5 龍馬 志の像

龍馬と一緒にハイポーズ！



龍馬が下田の宝福寺で脱藩赦免をされた1年半後の元治元年6月、船の故障により下田港で立ち往生していた勝海舟のもとに、龍馬が駆けつけました(海舟帖より)。その折、龍馬は下田で「蝦夷地開拓」の夢を海舟に語っています。龍馬は、どんな困難な状況でも夢や志を持ち続け、常に「前へ、前へ」と進んでいった人物です。人生の目標を立てた時、困難に掛けそうになったときに「人生の岐路に立った時ふと会いに行きたくなる」、そんな希望の石像にしたいと建てられた像です。下田湾を望むまどが浜公園に建っています。ぜひ、あなたの志を胸に龍馬と一緒に記念撮影してください。

問い合わせ / 0558-22-1531 (下田市観光協会)

MEMO

まどが浜海遊公園

広い芝生広場や散歩のできる遊歩道、人工浜などが整備された下田湾に面した公園です。足湯もあるのでのんびりとくつろぐのにピッタリ。下田湾を眺めると黒船遊覧船が航行しています。



6 下田ロープウェイ 下田湾を一望できる自然公園

ロープウェイで向かう先は下田湾を一望できる寝姿山自然公園。山頂は花公園となっていて四季折々の花が咲きます。龍馬が歩いたと言われる下田の街を高台から眺めてみてください。

電話 / 0558-22-1211 料金 / 1,500 円 (小人 750 円) 時間 / 8:45~16:45 (上り最終 16:15) ※季節変動あり 定休日 / 無休 住所 / 下田市東本郷 1-3-2

8 住吉楼跡 龍馬が酒を飲んでいた?!

謁見に立ち会った当時の竹岡尊住職の日記に「坂本龍馬なる人物が住吉楼に待機していた」という記述があります。龍馬は悠々とここで酒を飲んでいたのでしょか…。

問い合わせ / 0558-22-1531 (下田市観光協会)



現在は薬局が建っています

9 角谷(船宿)跡 勝海舟が宿泊

勝海舟一行が宿泊した船宿です。当時、風邪気味で寝込んでいた板垣退助が、勝海舟一行の為に宿を追い出されたという記録まで残っています。勝海舟はやっぱり大物ですね。

問い合わせ / 0558-22-1531 (下田市観光協会)



現在はビルが建っています

7 伊豆クルーズ 志を胸に乗船?!

「黒船に乗ってみたい！」それは龍馬の夢でもありました。「志の像」の背中越しに黒船遊覧船「サスケハナ号」の往来を見て龍馬に思いを馳せたら、黒船に乗ってみたい。船上から開国の舞台になった下田湾を感じられるはず。

電話 / 0558-22-1151 料金 / 1,500 円 時間 / 9:10~15:30 (1 日 1 1 便) 定休日 / 無休 住所 / 下田市外ヶ岡 19

龍馬にちなんだこんなグルメはいかが？

GOURMET

よあけまん

A 金栄堂



下田の米で作った地酒「黎明」の酒と酒粕を使い、国内産の粉のみで仕上げたまんじゅう。しっとりとした食感に酒の香りがします。1 個入 160 円。

営業 / 9:00~18:00 電話 / 0558-22-0350 定休日 / 不定休 住所 / 下田市武井浜 2-33

保命酒アイス

B 土藤商店



江戸時代に誕生した薬味酒「保命酒」。古くから万病・長寿に良いとされ、黒船で訪れたペリー提督も饗宴の席で口にされたといわれています。こちらは保命酒を使ったアイス (200 円)。ほんのり酒かすの香りが広がります。

営業 / 9:00~20:00 電話 / 0558-22-0021 定休日 / 不定休 住所 / 下田市 3 丁目 6-30 ※アルコールは使っていないので、お子様やドライバーさんでも

黒もな

C ロコ黒船



市街の老舗和菓子店。黒船の形をした黒い饅頭「黒もな(220 円)」は、餡子を後入れするタイプ。サクサクの饅頭の食感が楽しめます。その他、「黒船焼き」や「黒船まんじゅう黒」など開国をテーマにしたお土産が豊富。

営業 / 9:00~18:00 電話 / 0558-22-5609 定休日 / 不定休 ※お電話にてご確認ください 住所 / 下田市 2 丁目 2-37 ※facebook ページあり

GOURMET

龍馬好きな店主と語ろう

D 土佐屋

ペリーロードに建つ築 150 年の古民家を改装したソウルバー。店主の斎藤さんは自ら「DJ Ryoma」と名乗るほどの龍馬好き。ソウルミュージックを聞きながら、龍馬について語る下田の夜なんて素敵ですよ。メニューには「Ryoma」と名付けられたラムベースのカクテルがあります。

営業 / 19:00~深夜 電話 / 0558-27-0687 定休日 / 不定休 住所 / 下田市 3 丁目 14-30 ※facebook ページあり

